

令和元年度 第2号



「真姿の池」にまつわる伝承(国分寺市)

嘉祥元(848)年、絶世の美女・玉造小町が重い病気に苦しみ、国分寺の薬師如来に祈ると、一人の童子が現れ池の水で清めるように言いました。小町が身体を洗うとたちまち病気が治癒し、元の美しい姿に戻ったという伝承から、この池を「真姿の池」と呼ぶようになりました。

真姿の池をはじめとする国分寺崖線下の湧水群は、環境の良さを評価され、「環境省選定名水百選」の一つとして選ばれています。

目次

Table of contents listing various articles and their page numbers, including '巻頭言', '初春研修・新年会', '第7ブロック保護司組織運営連絡協議会', etc.

昨年二月、第46代小金井警察署長として着任しました平山です。どうぞよろしくお願いたします。

さて、私の拙文を北多摩東保護司会の会報に載せていただくに当たり、私なりに皆様方の活動について知見を深めようと考えて「保護司法」を紐解いてみました。そうすると、その第一条に「保護司法は、社会奉仕の精神をもって犯罪をした者の改善及び更生を助けるとともに、犯罪の予防のため世論の啓発に努め、もって地域社会の浄化をはかり、個人及び公共の福祉に寄与することを、その使命とする」とありました。



「首都東京の安全と安心を守るために」 平山 義典 第46代小金井警察署長

私たち警察にも「警察法」なるものがあり、その第二条には「警察は、個人の生命、身体及び財産の保護に任じ、犯罪の予防、鎮圧及び捜査、被疑者の逮捕：(略)その他の公共の安全と秩序の維持に当ること、した人に対する「更生」と「検挙」という違いはありますが、その目指すところは、安全で安心な社会づくりではないでしょうか。

近年、刑法犯認知件数が減少を続けていますが、このような状況を可能にしているのも、皆様方をはじめとする多くの方々それぞれがそれぞれの立場で、罪を犯した人の立ち直りを支え、犯罪や非行を防止する活動に尽力されているからではないでしょうか。今後とも、私たち警察による活動と皆様方の活動が、いわば車の両輪となって、共に前に進みながら、首都東京の安全と安心を守り続けたいと考えています。

結びに当たり、北多摩東地区保護司会のみならずのご発展と保護司の皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

令和2年

初春研修・新年会

令和2年1月17日、北多摩東地区保護司会初春研修及び新年会が吉祥寺東急REIホテルにて86名の参加で開催されました。

新年会に先立ち、東京保護観察所立川支部柴田由佳支部長より「更生保護の現状と課題」と題し、少年法の改正や、少年と成人の処分の違い、非行少年に対する支援の在り方についての講演をいただきました。

その後、小山茂会長、柴田由佳支部長の挨拶により新年会が始まりました。

先ず、令和元年度に表彰を受けられた方々に対し、北多摩東地区保護司会より記念品を贈呈いたしました。



続いて、来賓の松下玲子武蔵野市長、河村孝三鷹市長、西岡真一郎小金井市長、井澤邦夫国分寺市長、四市市議会代表の五十嵐京子小金井市議会議長、小山典子多摩地区保護司会連絡協議会会長より祝辞を頂きました。

その後、宮下みさ子副会長より来賓の紹介があり、星野直治前会長の乾杯の発声により懇親会が始まりました。

最後は、お楽しみ抽選会で盛り上がり、来賓の方々と和やかなうちに、松村久子副会長の中締めでお開きとなりました。

(総務部 田中 勉)



第7ブロック

保護司組織運営連絡協議会

今年度は北多摩西地区保護司会が当番で、10月21日に法務省矯正研究所にて開催されました。

5地区の保護司会の意見発表があり、当地区の出席は25名、発表は、国分寺分区の田中良人分区長でした。

議題は「東京の保護司活動の今、そして、これから」東京の更生保護を守り抜くために」で、趣旨は、今般改定された「保護司の安定的確保に関する基本的指針」及び取り組み方策として策定された「保護司の安定的確保のための10のアクションプラン」の内容を協議するものでした。

10のアクションプラン○保護司のなり手を安定的に確保するため○やりがいを感じ、長く、活発に続けられるために○保護司活動を効果的かつ効率的に行うためにこの3項目に分けて、各地区の実情や取り組みの報告がありました。

保護司候補者検討協議会が有効(府中)、役所のOBや現役の保護司や退任保護司からの紹介(調布・狛江)、事業内容の見直し、簡素化と軽減化を図ることは重要(北多摩北)、サポートセンターは新任保護司の受諾の決め手(北多摩西)など参考になる報告が多くありました。

(国分寺分区 長谷部 豊子)

秋の高齢者叙勲
瑞宝双光章

二瓶 洋子氏



令和元年度の高齢者叙勲において、二瓶洋子氏(国分寺)が瑞宝双光章の栄に浴されました。二瓶氏は永年にわたり更生保護事業にご尽力されました。心よりお祝い申し上げます。
(平成11年5月14日 退任)



令和元年度 東京更生保護事業関係者顕彰式典

北多摩東地区保護司会は27名の保護司の方々がその功績を顕彰されました。

法務大臣表彰

- 松村 久子(三鷹)
- 田中 良人(国分寺)

全国保護司連盟理事長表彰

- 川口 章 洋(三鷹)
- 山田 淑子(武蔵野)
- 尾崎 幸 信(国分寺)

関東地方更生保護委員会委員長表彰

- 大久保 良子(武蔵野)
- 大野 寿美子(三鷹)
- 小川 和男(小金井)
- 川畑 青史(小金井)
- 齋藤 武(小金井)
- 田中 久美子(国分寺)

関東地方保護司連盟会長表彰

- 飯村 雅洋(武蔵野)
- 高橋 榮治(武蔵野)
- 遠藤 百合子(小金井)
- 坂田 米子(国分寺)
- 水野 瑠美(国分寺)
- 三ツ木 静江(国分寺)
- 宮崎 邦子(国分寺)

東京保護観察所長表彰

- 井澤 邦夫(国分寺)
- 石井 一也(国分寺)
- 本多 晴敬(国分寺)
- 尾作 義明(国分寺)
- 小森 裕史(国分寺)
- 伊藤 さつき(武蔵野)
- 木川 憲子(武蔵野)
- 片畑 智子(国分寺)
- 内藤 達也(国分寺)

東京都保護司会連合会会長表彰

多摩地区保護司会
連絡協議会受賞祝賀会

令和元年度多摩地区保護司会連絡協議会受賞祝賀会が12月6日立川グランドホテルで開催されまし

た。立川支部管内の受章者は、叙勲6名・褒章6名・法務大臣表彰21名・全国保護司連盟会長表彰25名で、計58名でした。祝賀会は、受章者と来賓、多摩連理事、保護司等が集い、賑やかな会となりました。会に先立ち、受章者と地区

会長の記念撮影が行われ、第一部が開宴。

山田拓男総務部長の司会により会は進行し、小山典子多摩連会長、宮田祐良東京保護観察所長の挨拶に続いて、受章者が紹介されました。そして来賓の森久保康男東京都保護司会連合会長から祝辞をいただいた後、受章者を代表して荒井浩平保護司(多摩連理事 八王子地区)が、謝辞を述べられました。

引き続き行われた第二部は、柴田由佳東京保護観察所立川支部長のご発声による乾杯でスタート。「ザ・シグマ」による懐かしいナンバーなど生演奏が流れる中、和やかな話し声、楽しそうな笑い声が響き、時が過ぎて行きました。最後は、お楽しみ抽選会で大いに盛り上がり、約3時間にわたった祝賀の会も閉会となりました。



三鷹分区

長崎刑務所は明治14年に設置され、「明治の五大監獄」(千葉、奈良、金沢、鹿児島、長崎)の一つです。原爆投下により、爆心地にあった刑務所は壊滅し、現在は平和公園になっています。

長崎刑務所の特徴は、現在の課題となっている高齢受刑者に対応する「社会復帰支援部」を全国に先駆けて設置したことです。現在の収容人数は、531名、充足率は65.4%、最多再受刑者は22回、最高齢受刑者は85歳、受刑者の平均年齢は50歳前後です。

その後に行われた長崎保護司会との情報交換会は、サポートセンター設置への経緯や新任保護司確保の課題などが話題になりました。

(和田 俊彦)

視察研修は、現地を見て、聞いて、触れることによって新しい発見があります。

今回の長崎市は、初めての試みである地方保護司会との情報交換が行われました。長崎市の社明運動に係わり、その活動費が寄付によって賄われているなど地域の歴史・背景により、それぞれ特殊性がある反面、新任保護司の確保については共通の悩みもありました。

そして、世界遺産であるグラバー園にある「蝶々夫人像」は、少し身体を屈め、長崎港を指さしているその角度、首から肩、腕にかけての線は何とも言えない姿・形をつくりだし、日本の女性にしか表すことができない美しさ、色っぽさを再認識させられました。

(峯岸 佳一)

国分寺分区

武蔵野分区



刑務所跡地

平和公園に残る原爆で一瞬にして破壊された長崎刑務所の跡地、普賢岳噴火の災害記念館、

平和公園に残る原爆で一瞬にして破壊された長崎刑務所の跡地、普賢岳噴火の災害記念館、

キリシタン迫害の歴史を偲ばせる大浦天主堂等に行き、こうした大変な困難を乗り越えてきた長崎の歴史を実感しました。異国の新しい文化や学問を吸収し、新しい時代を切り拓いていった長崎の人々。そのしなやかな強さを、活動の意義を考えながら積極的に行動している長崎保護司会の方々に強く感じました。

(望月 加奈子)

北多摩東地区保護司会管外研修 長崎刑務所を訪ねて【9月30日～10月2日】



五大監獄の一つと称される長崎刑務所の視察では、広い敷地内にある施設を

巡り、受刑者の生活状況を垣間見ることができました。

当刑務所には全国で唯一の社会復帰支援部が設置されており、受刑者の高齢化が進む中、高齢受刑者へのサポートに力を入れていることが印象的でした。

また、長崎地区保護司会から14名の参加を頂き、意見交換会及び懇親会を行いました。

同地区でのサポートセンター設置に至るまでの経緯や問題点等、貴重な意見を聞かせて頂きました。

このような他地域の保護司会との意見交換会は、両地区とも初めての試みであり、地域の特色や取り組みの内容など、参考になることも多く大変有意義な意見交換会になりました。



意見交換会

(藤尾 忠洋)

小金井分区

ぶんくろピックス

小金井分区

府中刑務所研修



以前より希望していた府中刑務所視察を12月9日に行いました。係の方からスライドを交え説明を伺いました。その後、移動して平成20年に改築完了した建物内の見学をしました。独房、高齢者の作業場、製本作業所の見学でした。高齢化による医療の増加や仕事内容の変化など数々の問題を抱えている現状を知りました。

視察後、国指定史跡の武蔵府中熊野神社古墳を見学し、帰路に着きました。

(小山 直子)



国分寺分区

川崎自立会研修



12月9日国分寺分区の日帰り研修では、神奈川県川崎市にある川崎自立会を訪問しました。

この更生保護施設は、昭和22年京浜工業地帯に在業者の仕事求めてこの地に「自立会川崎授産場」として開設されました。同38年に更生保護事業経営の認可を受け、45年6月には鉄筋コンクリート造3階建ての施設として完成し、老朽化に伴い平成29年3月に新築竣工しました。入所者は施設長のモットーでもある「百の説教より温かい食事と暖かな布団」ということで良い環境下で生活することにより社会に戻る心を支えられています。

(林 博行)



武蔵野分区

「退所者に対する生活支援活動を強化」

12月3日、町田市にある更生保護法人鶴舞会を訪問しました。この施設では、フォローアップ事業として、退所者に対して連絡を取りながら、生活相談支援の活動を強化しています。この対象者の多くは高齢者・障害者であり、孤立しがちな人たちに手を差し伸べています。再犯防止の取り組みには、このような地道な活動が大事であることを改めて感じさせられました（鶴舞会の活動については、更生保護誌11月号の記事をご覧ください）。

(高橋 榮治)



三鷹分区

東日本成人矯正医療センター研修



12月4日、東日本成人矯正医療センターに行きました。昭島市にあった米軍基地の跡地を活用して建てられた施設です。刑事施設であり、かつ、認可を受けた病院としての機能を有する医療専門施設として、内科・外科・精神科を中心に、MRI、CTスキャナー、超音波診断装置などの医療機器や薬剤などを用いて、適切な治療とリハビリテーションを行っています。

(三橋 優子)



新

コラム
「窓」

私と日本画

国分寺分区長 田中 良人



今から三十数年前奈良にある広大な平城宮跡に出会ってから、私

絵は日本画の方が良いのではと、日本画を始めようと思いい教室を探

の生まれ育った国分寺にある武蔵国分寺跡の奈良平安時代の堂塔建物を調べる事をライフワークとしてきました。今は基壇と礎石に瓦等の遺物が残るのみですが、奈良平安時代の伽藍がどう建っていたかを研究し、その姿を絵で表現していました。

し荻窪にある夜間教室を見つけた。講師は小谷津雅美先生で女性かと思っていたら、柔道をやっていて体は大きくハローを乗り回している男の先生でした。日本美術院の同人で身体に似合わず繊細な絵を描いていました。習い始めたのは平成九年からで二十数年になります。グループ展等を開催していましたが、先生が亡くなり今はグループ展等していませんが、武蔵国分寺復元伽藍の絵は続けています。

大学生が夏休み中の9月17日に昭島市にある東日本少年矯正医療教育センターで視察研修を行いました。北多摩東BBS会から8名、総勢24名の参加でした。



BBS会との合同研修

地域活動推進協議会講演会

今年度も恒例の地域活動推進協議会が11月7日(木)14時から武蔵野スイングホールスカイルームにて開催されました。

この協議会は地域活動部会が毎



年企画、地域の関係機関の方々と研修・交流を行う貴重な場です。保護司のほか、学校関係者、PTA、民生児童委員、更生保護女性会など約64名が参加しました。

今回は「青少年問題」をテーマに、警視庁少年育成課立川少年センター心理技術職副主査 佐藤裕美氏より、その豊富な経験の中からいくつかのケースをお話しいただきました。

佐藤氏の指導はまず少年たちの話を聞くことから始まります。何度会っても押し黙ったままの少

年、悪態ばかりつく少年など、一筋縄ではいかない少年達と面談を重ね、一人ひとりの特性を見極め、それぞれの存在を認めて言葉を交わすうちに、ふと心が通う瞬間がくる、それを信じて努力を続けていらつしやるのが伝わってきました。

具体的で、参考になるお話ばかりで、「急がず、根気強く、諦めず」少年たちに向き合っているかなければ、と意を新たに2時間でした。

(地域活動部 戸倉 央江)

BBS会の参加者から「とても丁寧な説明があった。更生に向けた様々な工夫がされている。とても清潔で雰囲気も明るく少年院には見えない感じだった。全国の施設も環境が整うことを切に願っています。自分より若い少年が人を殺めてしまうことがあるということは教育を学ぶ者として何かできないかと思った。非行につながる悪い環境から少年を隔離して自分自身と向き合うための施設だと思った。話では聞いていたが実際に自分の目で見る貴重な機会だった。有意義だった。今後の活動に活かしたい。また矯正施設の研修



令和元年度 第Ⅱ期地域別定例研修
研修テーマ
「発達障害について」

地域別定例研修

(地域活動部 田中 博)

があつたら嬉しい」という感想がありました。
毎年参加者(人数)に変動はありますが、将来を担うBBS会の若者にこのような機会を提供するこの活動は継続すべきものと思
います。

第Ⅱ期地域別定例研修が、11月15日(金)午後2時から三鷹駅前コミュニティセンターで、11月22日(金)午後6時30分から国分寺市立本町・南町地域センターで開催されました。

作間主任官の講義は、事例を交えながら分かり易く丁寧な内容でした。近年、発達障害の診断数は大人も子どもも増加傾向にあり、発達障害を有している保護観察者も中にいます。その特性や行動傾向を理解し、個々が抱える問題を念頭に置き、特徴ある対象者との面接技法に生かし、どのような関わり方をしていくことが有効なのか参考となりました。
質疑応答も活発で発達障害への関心の高さを感じました。

(研修部 大羽 千也)

第Ⅲ期地域別定例研修
研修テーマ「就労支援と

社会資源の活用」

- 武蔵野・三鷹 2月13日(木) 18時30分～20時30分
- 三鷹駅前コミュニティセンター
- 小金井・国分寺 2月20日(木) 14時～16時
- 国分寺市立本町・南町地域センター

更生保護女性会活動報告

理事研修施設訪問

北多摩東地区更生保護女性会

会長 林 邦子

10月24日(木)警視庁少年育成課立川少年センターと東日本少年矯正医療・教育センターに39名の理事で伺いました。

立川少年センターでは①「少年非行が多様化している」②近隣の畑を借用して「立ち直り支援活動」を実施している、との話を聞きました。また東日本矯正医療・教育センターでは「今まで更生保護女性会に学習発表会やクリスマス会などマス会などで訪問をしていただいていた関東医療少年院が移ってきた」との話を伺い、センターの次長からは「また声をかけたい」とのお話もありました。



2カ所の施設を訪問し、再犯防止が課題となっている今、地域に根ざした活動の大切さを改めて知る機会となりました。

桐友会だより

山代 法道

東京桐友会の活動

令和元年6月28日、第1回理事会を開催、事業・収支決算報告、役員改選、「桐友会会員の集い」等について協議されました。
東京桐友会会員の集い



令和元年9月5日、アルカデア市ヶ谷で開催され、当地区から小山茂保護司会会長、田中良人副会長、会員8名が参加しました。総会終了後、顕彰が行われ北多摩東桐友会からは、2名が米寿の祝いを受けられました。

長谷川鐵夫 氏(武蔵野)
二瓶 洋子 氏(国分寺)

北多摩東桐友会の活動

地区の活動は例年に同じく分区ごとに懇親会が開催されたほか、社会を明るくする運動等保護司会が行う諸行事への参加でした。

年二回発行 昭和四十八年十月一日創刊

令和二年三月一日発行

三鷹市：三鷹図書館

三鷹図書館は1964年に開館し、1984年に現在地に移転しました。地上2階地下1階で、1階には開架書庫と団体貸出用の資料を所蔵する団体室、2階には参考資料を集めた資料室と閲覧席、展示ホールがあります。市立図書館最大の面積を誇り、蔵書は凡そ43万点、うち閉架書庫である



保存庫には凡そ15万点の資料を有し、移動図書館車の基地にもなっています。普段は立ち入りできない庭の中央には、山形県白鷹町から送られた古典桜が枝を伸ばし、その木陰に豊福知徳作の彫像「憩いの像」が安置され、利用者に親しまれています。

武蔵野市：ひととまちを「知」で支える

武蔵野市の図書館は、中央・吉祥寺・武蔵野プレイスの3館あり、蔵書数は3館合わせて約92万冊、貸出は年間で約257万件、来館者は年間で延べ約319万人にもなります。

また、貸出サービスに限らず、青少年向けのイベント、映画会・講演会等、様々な行事を開催しています。

平成30年4月には吉祥寺図書館がリニューアルオープンし、気軽に立ち寄りたくなる魅力的な図書館として、より多くの方々に利用いただいています。



図書館

国分寺市：都立多摩図書館

国分寺市立図書館は分館も含めて6館ありますが、平成29年1月に市内に移転した都立多摩図書館は、雑誌の特性を活かしたサービスを行う「東京マガジンバンク」と都内の子どもの読書活動を推進する「児童・青少年資料サービス」の2つの機能を柱に、都民の調査研究及び課題解決の支援や、区市町村立図書館並びに学校への支援サービスを行っています。



小金井市：「小さな小さな図書館」

小金井市には図書館本館のほかに、分室・図書室が地域に4つ点在しています。本館は老朽化とともに、読書スペースも狭いなど多くの課題を抱えています。ここでは地域に溶け込んだ小さな図書館を紹介します。その名は「西ノ台図書館」です。都営住宅の一角に併設され、その面積はわずか55平方メートル。蔵書数は約1.5万冊。小学校の図書室並みです。でも大丈夫、市民の多くはネットで予約しお借りしています。



山本 雄一氏
(小金井分区)
9月17日発令



高麗 静男氏
(三鷹分区)
9月17日発令



堀内 正嗣氏
(武蔵野分区)
9月17日発令

左記の方が委嘱されました。今後のご活躍を期待いたします。

新任保護司



横山 昌弘氏 (小金井分区)
令和2年1月31日(在職20年)

小美濃晃子氏 (武蔵野分区)
令和元年9月16日(在職30年)

永い間お疲れ様でした。今後も益々お元気で活躍くださいますよう祈念申し上げます。

退任保護司



加藤真由美氏
(小金井分区)
2月1日発令



中村 隆生氏
(国分寺分区)
9月17日発令

編集後記

地球温暖化の影響なのか、今年の冬は全国的に暖冬となっており、山の降雪も少なく夏の水不足も心配されます。

今号から「窓」という新コラムを設けました。これから、皆さんの「私と〇〇」を紹介していきたいと思っておりますので、ご寄稿をお願いいたします。

これからの皆さんの身近な話題を取り上げて、親しみやすい会報にしていきたいと思いますので、今後ともご協力よろしく願いたします。

広報部員一同



発行者 編集人

北多摩東地区保護司会
和地誠一 電話〇四二(五七二)二六三六